

備前市の鉄道とバス

備前市の鉄道

〔山陽本線〕

明治23(1890)年
12月1日 山陽鉄道有年駅～三石仮停車場駅間(19.39km)が延伸開業
三石仮停車場が開業
明治24(1891)年
3月18日 三石仮停車場～岡山駅間(44.28km)が延伸開業
三石駅・吉永駅・和気駅・瀬戸駅・長岡駅(現在の東岡山駅)・岡山駅が開業
三石仮停車場が廃止
明治39(1906)年
12月1日 国有化され、山陽本線に名称変更
明治43(1910)年
10月25日 上郡駅～三石駅間が複線化
明治44(1911)年
6月20日 三石駅～吉永駅間が複線化
大正11(1922)年
3月6日 吉永駅～和気駅間が複線化
昭和35(1960)年
10月1日 姫路～岡山間電化完了
昭和62(1987)年
4月1日 国鉄分割民営化により、神戸駅～下関駅間が西日本旅客鉄道(JR西日本)



三石駅を出て岡山方面へ走る山陽本線の列車(出典:岡山県立記録資料館)

〔赤穂線〕

昭和30(1955)年
3月1日 播州赤穂駅～日生駅間(11.6km)が延伸開業。備前福河駅・日生駅が開業
昭和33(1958)年
3月25日 日生駅～伊部駅間(12.4km)が延伸開業。伊里駅・備前片上駅・伊部駅が開業
昭和37(1962)年
4月1日 寒河駅が開業
9月1日 伊部駅～東岡山駅間(22.9km)が延伸開業し全通。香登駅・長船駅・邑久駅・大富駅・西大寺駅・大多羅駅が開業
昭和38(1963)年
5月1日 天和駅・西片上駅が開業
昭和44(1969)年
8月24日 全線電化
昭和58(1983)年
7月29日 備前福河駅～東岡山駅間で列車集中制御装置(CTC)導入
昭和62(1987)年
4月1日 国鉄分割民営化で西日本旅客鉄道承継
平成16(2004)年
10月16日 一部の列車でワンマン運転開始
平成25(2013)年
3月16日 播州赤穂駅で運転系統が分断され、全線を通して運転される列車がなくなる。
平成30(2018)年
9月15日 「ICOCA」全線で利用可能に



伊部駅に到着した一番列車(出典:岡山県立記録資料館)

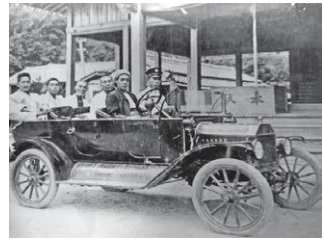
〔片上鉄道〕

大正8(1919)年
3月24日 片上～三石(片上～和気～吉永～三石)間の軽便鉄道の免許を鉄道大臣に出願
7月16日 片上～三石間の軽便鉄道の免許取得(片上軽便鉄道)
11月27日 片上鉄道設立
大正10(1921)年
6月17日 片上恵比寿神社にて起工式
12月28日 和気～三石間の免許失効
大正12(1923)年
1月1日 片上鉄道により、片上～和気間が開業
8月10日 和気～備前矢田～井ノ口間が開業
旅客営業は片上～備前矢田間のみ
柵原鉾山からの鉾石輸送用索道と井ノ口で連絡
昭和25(1950)年
6月20日 藤田興業が片上鉄道を合併
「藤田興業片上鉄道海運事務所」に改称
昭和32(1957)年
8月1日 同和鉱業が藤田興業を合併
「同和鉱業片上鉄道事業所」に改称
昭和62(1987)年
8月18日 同和鉱業より鉄道廃止の方針が正式発表
平成3(1991)年
7月1日 全線廃止



昭和40年頃の片鉄構内

備前市のバス



乗合自動車（片上⇄岡山）
大正6年 山崎誠一氏

「宇野バス」

大正7（1918）年3月

香登本の宇野三郎氏が県下初のバス事業者として
宇野自動車会社を創業、香登⇄岡山間の乗合自動
車の運行開始（のち片上⇄岡山間に延長）

大正15（1926）年

日生⇄岡山間運行開始

（山崎自動車会社の片上⇄日生間を買収）

昭和11（1936）年

片上⇄日生間の運行を開始

昭和16（1941）年4月1日

宇野自動車株式会社設立

昭和30（1955）年

日生⇄日生駅間運行開始

昭和39（1964）年5月1日

日生駅⇄寒河間の運行を開
始

（岡山駅⇄寒河間運行）

平成18（2006）年11月30日

片上⇄寒河間の運行を停止



宇野バスと備前バス（平成18年）

「備前バス（日生運輸）」

昭和46（1971）年5月

宇野自動車の廃止代替路線を運行開始

昭和47（1972）年7月

同和鉱業片上鉄道のバス事業（片鉄バス）廃止に
伴い、片鉄バス片上線（片鉄片上⇄国鉄和気駅）
を引き継いだ

平成3（1991）年7月1日

同和鉱業片上鉄道の廃止に伴い、代替バスを運行
開始

平成5（1993）年4月

両備バスが鶴海⇄佐山⇄長船駅線を運行休止した
ため、緊急代替運行を実施

平成18（2006）年12月1日

宇野自動車から片上⇄寒河間のバス路線を譲受

平成27（2015）年

3月19日 国土交通省中国運輸局岡山運輸支局に
廃止届を提出。

3月31日 バス事業からの撤退、全10路線の廃止
を発表。

9月30日 バス事業を廃止。備前市営バスに路線
が引き継がれる。

「吉永町営バス」

昭和61（1986）年4月30日

町営バス運行開始

平成17（2005）年3月22日

合併に伴い、備前市営バスとして運行

「備前市営バス」

平成17（2005）年3月22日

合併に伴い、吉永町営バスを備前市営バスとして

運行

平成21（2009）年2月1日

和意谷線を牛中⇄飯掛下間延長

平成27（2015）年10月1日

日生運輸の路線バス事業撤退に
伴い、同社から備前片鉄バス路
線（赤磐市・和気町が継承）と

東備西播定住自立圏・圏域バス

（2012年に赤穂市が継承、ウエスト神姫に委
託）以外の路線を継承

平成28（2016）年4月

頭島線実証実験開始。運行区間は日生（現日生
定期船乗り場前）⇄（日生町）漁協頭島支所前

平成29（2017）年10月1日

頭島線正式運行開始、運行区間が日生（現日生
定期船乗り場前）⇄入鹿に延長

令和2（2020）年10月1日

頭島線の運行区間がコンフォールひなせ⇄入鹿に
延長、五味の市経由便設定

「他市町間バス」

◆和気町営バス

▼和気・片上線（和気駅南⇄備前片上駅）

▼吉永病院線（和気駅⇄吉永病院）

◆瀬戸内市営バス

▼美和線

（長船駅⇄新庄⇄邑久駅）

◆東備西播定住自立圏域バス

（ていじゅうろう）

▼備前ルート

（吉永駅⇄三石駅

⇄赤穂市民病院⇄イオン赤穂店）



ていじゅうろう

